

Playing rules for Rocca Card Tower

2人以上、7歳以上向き

【ゲームに使うカード】

- ・スペード、ハート、ダイヤ、クラブ各14枚
- ・ジョーカー4枚
(計60枚)

【ゲームの目的】

先に手札をすべて出し切った人が勝ちです。

【ゲームの準備】

- 最初にプレイする順番を決めます。年齢がいちばん低い人から時計まわりに。あるいはじゃんけんで決めましょう。
2回目からは、いちばん負けた人から時計まわりにプレイします。
- カードをシャッフルし、5枚ずつ配ります。
- 残ったカードから1枚引き、スタートカードとして表向きに置きます。
A、J、Q、K、ジョーカー、0が出た時はシャッフルし直し、新たに1枚引いて表向きに置きます。
残ったカードは山札としてスタートカードの近くに置きます。

【ゲームの進め方】

プレイヤーは順に手札から1枚ずつカードを出し、スタートカードに重ねていきます。

●基本ルール

カードには、「頭」「顔」「横顔」があります<図1>。プレイヤーは、この3つの面のいずれかに重ねるようにして手札を置きます。

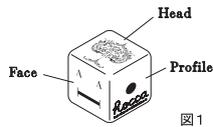


図1

Rocca®

A Card Game by
Tadzio Okanowski & M.Kakimokihara

The Name Rocca is derived from the Japanese word
ROKKAKU, which means hexagon.

Rocca cards are the same as ordinary playing cards,
so you can play Poker,
Sevens or other traditional card games.

Or use the face and the back
as two-dimensional building blocks
to make geometric patterns !

Rocca is registered trade mark and all rights are reserved.
© 2009, Rocca spiele / 10 inc.

スーツ(♠♥♦♣のマークのこと)が同じ手札は、
カードの「頭」に重ねられます<図2>。



図2

アルファベット (A、J、Q、K) が同じ手札は、
カードの「顔」に重ねられます<図3>。

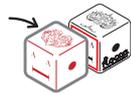


図3

数字が同じ手札は、
カードの「横顔」に重ねられます<図4>。



図4

●手札から出せるカードがない場合や、出たくない場合は、山札から1枚ひき、次のプレイヤーの番になります。

【置き方のルール】

- カードを重ねられるのは、“各列”の“いちばん上”のカードだけです。これらのカードを「アクティブカード」と言います。下になったカード(赤い斜線の部分)には重ねられません<図5>。
- カードを重ねたい面の半分、または全面が他のカードにふさがれている場合も、カードを置くことはできません<図6>。



図5

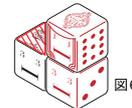


図6

【役札と特別ルール】



0(ゼロ) = プレイする順番を逆まわりにします。2人で遊ぶ時は、ふつうの数字カードと同じように扱います。



Joker(ジョーカー) = スーツを自分の好きなものに変えることができます。アクティブカードの「頭」に置いて、♠♥♦♣のどれにするか指定します。プレイヤーはジョーカーを置くとき、タワーを曲げるようにして置きます。この後、プレイヤーは全員、ジョーカーの上にカードを置かなくてはなりません<図7>。



図7



A(エース) = カードを置いたあと、他のプレイヤーをとばしてもう一度プレイできます。



J(ジャック) = 次のプレイヤーに、山札から1枚、カードをひかせることができます。

*前のプレイヤーにジャックを出されたとき、あなたの手札にジャックがあれば、それを場のジャックの「顔」に重ねて置き、次のプレイヤーに1+1=2枚のカードをひかせることができます。同じように、次のプレイヤーがジャックを持っていれば、+1枚のカードをその次のプレイヤーにひかせることができます。持っていなければ決められた枚数をひき、次のプレイヤーの番になります。



Q(クイーン) = 他のプレイヤーのひとりに札からいらぬカードを1枚わたします。

*他のプレイヤーからカードをおしつけられた時、あなたの手札にクイーンがあれば、それを場のクイーンの「顔」に重ねて置き、カードをわたしてきたプレイヤーに1+1=2枚のカードを手札からわたします。同じように、手札にクイーンがあれば、+1枚のカードを相手に返せます。最後にクイーンを出した次のプレイヤーからゲームを続けます。



K(キング) = 次のプレイヤーに、山札から2枚、カードをひかせることができます。

*前のプレイヤーにキングを出されたとき、あなたの手札にキングがあれば、それを場のキングの「顔」に重ねて置き、次のプレイヤーに2+2=4枚のカードをひかせることができます。同じように、次のプレイヤーがキングを持っていれば、+2枚のカードをその次のプレイヤーにひかせることができます。持っていなければ決められた枚数をひき、次のプレイヤーの番になります。

【ゲームの勝敗】

- 手札が残り1枚になったら「ワン」と言います。「ワン」と言うのを忘れた場合、あがりは認められず、山札から3枚ひいて手札としてゲームを続行します。
- 最初に手札がなくなった人が勝者です。
- 山札がなくなった場合は、先に手札を出せなくなった人から負けです。誰もあがれない場合、最後まで残った人が勝者になります。

【オプションルール】

- ボン = アクティブカードと同じアルファベットや数字のカードを2~3枚持っている場合、「ボン」と言ってカードを「顔」か「横顔」につなげて置くことができます。本来の自分の番でなくても構いません。ただし、役札の効果は出した枚数分ではなく1枚分だけです。また、自分の回に出したカードに対して、続けて「ボン」はできません。「ボン」をした人の次のプレイヤーからゲームを続けます。

